

今回から就活解禁が3カ月繰り下げられるが、自己分析や業界研究は時間を要するので早めに準備を。業界研究をする上ではOB・OG訪問も有効・・・学生はその旨弓友会事務局に連絡し、一足先に社会に出ている会員との仲立ちを要請するなど利用すればよいと思います。

就活 ON!

毎週火曜掲載

解禁まであと2か月

大学3年生の就職活動解禁(3月1日)まで2か月足らず。就活の準備は、比較的時間が取れる今のうちに、できるだけ進めておくといいたいでしょう。何をすべきか、ポイントをまとめました。(石塚公康)

トピックス disc

青山学院大学(東京都渋谷区)で昨年12月中旬、同大進路・就職センターが就活準備の進め方を指導する講座を開き、3年生17人が参加しました。

講師のキャリアアドバイザー、沼井志保さんが「いつから何にどう取り組むか、具体的に計画を立てよう」などと呼びかけ、文学部3年の女子学生(左)は「説明を受けた内容を参考に準備を進めたい」と話していました。

業界研究、筆記対策……準備を

就職情報会社「ディスコ」の調査によると、今の大学3年生が11月時点で取り組んだ就活の準備状況は、2013年度の3年生に比べ、「自己分析」で10・1ポイント減の65・6%、「業界・企業研究」は8・7ポイント減の63・0%、「筆記試験・面接対策」が13・7ポイント減の37・4%など大幅に下がっていました。

13年の11月は、就活解禁まで1か月の直前の時期とあって、学生たちの準備も進んでいましたが、今の3年生は「まだこれから」という意識を持つ人が多いようです。同社キャリアアドバイザー、武井房子さんは、「就活準備に積極的に

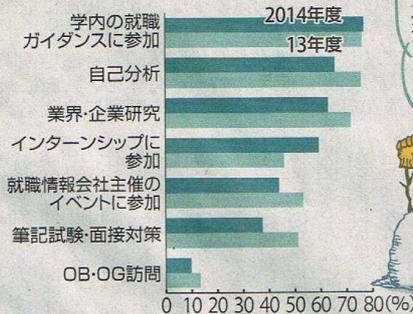
動いている学生と、動いていない学生の『極化』がみられる」と話します。就活解禁の時期は、今回から3か月繰り下げられますが、自己分析や業界研究などは時間を要するため、早めに取り組むたいところです。業界研究をする上ではOB・OG訪問も有効です。沼井さんは、「会社員は年始のあいさつ回りなどで忙しいため、訪問は1月中旬からがよいでしょう。同時に、一人で取り組める筆記試験対策などの勉強を進めてほしい」とアドバイスします。ディスコの武井さんは、「12月2月は大学の後期試験の時期なので、勉強もきちんとして



就活の準備について、沼井さん(中央奥)の説明を聞く学生たち(青山学院大で)

◆大学3年生の就活準備状況

(11月まで。ディスコの資料を基に作成)



13年度より時間はまだあるけれど、油断大敵。学業との両立も忘れないて!



て」と呼びかけます。就活解禁の繰り下げの目的の一つに学業に専念する時間の確保が挙げられており、採用選考でも学業成績をチェックする企業が増えそうです。「面接でも勉強に打ち込んだ点は、十分アピール材料になる」と言います。武井さんはさらに、「志望業界などについて、親としっかり話し合っておきましょう」と話します。内定を得た後に、親が入社に反対するなどのトラブルを防ぐためです。また、就活が本格化する前に、4年生が卒業してしまうため、今のうちに体験談や助言を聞いておくのがおすすめです。学業との両立を意識しながら、3月になって慌てることのないように、今から「コツコツ」と就活の準備を進めてください。